

「委員会プロジェクト」発動!

10月12日(水)は、2学期の始業式でした。そこで、「2学期にがんばって欲しいこと」として、2つのことを子供達に話しました。

1つは、「勉強をがんばること」です。1学期は、修学旅行、宿泊学習、校外学習等の体験をとおして集団行動を学びました。また、スポーツテスト、水泳、運動会等で体を動かすことで体力を付け、学びの土台になる基礎的な力を身に付けてきました。2学期はそれを生かして、考える力、活用する力を身に付けていくときです。季節も涼しくなり集中して学習に取り組める環境になってきましたので、まずは授業で、全員が発表できること、話し合うことで考えをまとめていくこと、それを分かるように発表できること等ができるようがんばることを話しました。

2つ目は、「主体的に行動できるようになること」です。行事でも先生達に言われるまま行動するのではなく、自分達で協力して考え、計画を立てて実行できる力を身に付けること。特に6年生は中学校に向けて、そして、5年生は来年のリーダーとして4月当初から力を発揮できるように、この半年間で準備して欲しい、と話しました。

そこで、「委員会活動プロジェクト」を発動しました。6つの委員会にそれぞれ行事を割り振り、委員会のメンバーがプロジェクトチームとして、企画・運営をしていきます。先生達は相談にのりますが、一切手を貸しません。第1弾として、今「稲刈り・けやき祭りプロジェクト」が活動中です。どのような結果になったかは、次号でまた、お知らせしたいと思います。



スマホ・携帯持たせる前に!

毎年、10月に小林市では、教育委員会が市内の全児童生徒を対象に「携帯電話等に関する児童生アンケート」を実施します。西小林小での結果を見ると、160名中40名が自分用の携帯電話を持っており、その8割の児童が、携帯電話を持った理由を「親(保護者)から、持つように勧められたから」と答えています。また、持っていないけれども「家族所有の携帯電話を普段から使う」と答えている児童は105名、実に65%を占めており、昨年から比べても倍増しています。しかし、家庭でルールを決めて使わせているのはわずか26名(25%)に過ぎませんでした。

携帯電話で犯罪やトラブルに巻き込まれるケースは年々高くなっています。スマホ・携帯を持たせるからには、与える前にその使用目的をはっきりさせ、ルールをきちんと作って使わせることが子供の安全を守る事につながります。



21日に
行われた
スマホ・
ケータイ
安全教室

21日の参観日の全体懇談会では、スマホ・ケータイ安全教室を開催して、「子供をトラブルから守るために」と題してお話をいただきました。



- 1日(火) 全校朝会・冬服着用・クラブ
- 4日(金) 全校体育(持久走)
- 7日(月) 全校体育(持久走)
- 8日(火) 米の計量(4年)代表委員会
5年校外学習(川の流れ)
- 9日(水) 就学時検診、読み聞かせ感謝集会
- 10日(木) 全校体育(持久走)
- 11日(金) 西諸県地区音楽大会(4年)ALT訪問
- 13日(日) けやき祭り
- 14日(水) 振替休日(13日分)
- 15日(木) クラブ活動(60分)
- 16日(金) 持久走(ロード)教育相談、読書集会

- 18日(金) 学年読書の時間、全校体育
小1と中3との交流
- 21日(月) 鑑賞教室
- 22日(火) 持久走練習(ロード)
- 24日(木) 全校体育(持久走)
3年社会科見学(グンゼ工場)
- 30日(水) 全校朝会
全校体育(新体カテスト)



1年生の「モーモー教室」

10月20日に、牛乳の生産農家の方々とJA宮崎経済連とJAこばやしの方々7名が学校に来られて、1年生の教室で「モーモースクール」が開かれました。

最初に酪農家の仕事として、本校の保護者の早田さんが牛の世話から牛乳ができるまでを話してくださいました。朝4時に起きて一頭、一頭の様子を見ながらお世話をしているということでした。次に、牛乳について、クイズ等を交えながら楽しくお話をしてくださいました。その後は、子供達のお楽しみ、牛乳と生クリームをシェイクしてのバターづくりや、簡単にできる「牛乳もち」はとてもおいしくて、1年生は試食で大喜びでした。最後に、模型の牛で乳搾り体験を全員がしました。

「牛乳が大好き!」という子供たちが多かったので、これからもたくさん飲んで、丈夫な子供に育てて欲しいと思います。



酪農農家の1日の流れを分かりやすく説明してくださいました。

牛の模型のミル子ちゃんて乳搾り体験です。ミル子ちゃんは100万円したそうです。



がんばりました「甕岳登山」

24日は、全校で遠足でした。1・2年生は電車で市内の緑が丘公園に、3・4年生は御池青少年自然の家に、5年生は宮崎市内のUMKとフェニックス自然動物園に、一人の欠席もなくそれぞれ楽しく充実した活動や体験ができたようです。6年生は甕岳登山に行ってきました。最後の登りは急でしたが全員登り切り、火口を周回したり、火口湿原で「もうせん苔」を見たりと疲れましたが貴重な体験ができました。



甕岳の頂上で記念撮影、全員笑顔で登り切りました。思った以上に達成感を味わったようです。

6年生の「小林市陸上大会」での活躍

10月19日に、小林市内の陸上大会があり、6年生27名が参加しました。この日を目指して、放課後練習を積み重ねてきましたが、その成果が出て、大活躍でした。大舞台に緊張することなく実力を発揮した、にっこばっ子に拍手です。

優勝	女子50mハードル走	記録 9秒0
	梯 奈奈	【県標準記録突破】
優勝	男子ソフトボール投げ	記録 59.21m
	重信 和宏	【県標準記録突破】
優勝	女子ソフトボール投げ	記録 39.14m
	久留木 彩美	
3位	学校対抗リレー (女子)	
	記録 1分1秒0	
	(梯 奈奈、山之口愛紗、永田琳里乃、前原 佑紀)	
5位	男子走り幅跳び	記録 3m57cm
	粕木 綾太	
6位	男子1000m	記録 3分26秒9
	川添 陽貴	

この他、全員が走る100m走と50mハードル走では、その組の1位だった子供に記録賞が渡されますが、なんと、それが16枚もありました。実際、応援していても、1位で目の前を駆け抜けていく子供が多かったです。今年の練習は来年を見据えて5、6年生合同で行いました。5年生も来年はきっと大活躍してくれると思います。

「家庭教育の指針」から その2

今回は、「人とのかわり」に関する指針です。

- 「相手のことを思いやる気持ちを育てること」
「思いやりのモデルが身近にあること」「自分が思いやりを受けているのに気付くこと」が大切です。家庭における大人の“さりげない心遣い”が鍵になります。
- 「お世話になっている人に、感謝や尊敬の心をもつようにすること」
まずは家庭内や近隣といった身近で具体的ななかかわりの中で、さらには公共の仕事に携わる人々への思い、といった発展が考えられます。親・保護者の言動が大きく影響します。
- 「時と場に応じた挨拶ができるようにすること」

挨拶は、相手と心を通わせるための最も大切な手だてです。基本は家族の間で挨拶を交わす習慣ができています。

